

議案審議の要は

議案の本会議採決の前に、常任委員会

総務文教常任委員会

ここがポイント 道の駅の売上は

平成29年9月23日に開業した「北欧の風 道の駅とうべつ」は当初想定を上回るお客様が来場されています。客単価やリピーターの獲得について議論が行われました。

問 売上額と入込客数は当初予定を上回っているが、一人あたりの売上が少ないようだ。どのように分析し、対策を行っているのか。

答 客単価を700円程度と想定していたが、**現状は460円程度**。買い物よりも見学という傾向があった。tobeと共に、**ついで買いの誘発や滞在時間を伸ばす仕掛け**を考えていく。



問 客単価が想定より低い状況は樂觀できるものではない。今後リピーターをどう増やすかが課題だが、具体的は取組を行っているのか。

答 クリスマスフェアなどのイベントをテレビを通じて発信している。tobeでも検討しているが、今後、**ポイント制度の導入**や、プレゼントなどの対策を考えることが必要。

ここがポイント 学校耐力度調査

一体型小中一貫校の建設に向けて、既存の当別小学校と当別中学校の校舍耐力度調査費として1800万円の補正予算案が提出されました。



問 耐力度調査と耐震調査の違いは何か？

答 耐震診断は、建物を継続的に使用する際に地震に対する安全性、耐震性能を評価するもの。耐力度調査は、**改築事業に対する国の補助要件**として主に**建物の老朽状況**を総合的に評価するもの。

ここがポイント 燃料単価の上昇

問 暖房用燃料費の増額について、当初予算での積算単価と現在はどうなったのか。

答 小中学校の灯油、重油については、**灯油が58円から75円**に、**重油が59円から76円**になった。

ここがポイント 道の駅周辺での事故

問 道の駅付近で人身事故、物損事故が起きている。事故の原因分析と今後の改善は考えているのか。

答 **右折信号の設置**を警察に、**右折レーンの延長**を開発局に要望した。**町道17線の環境整備**も担当と協議し検討したい。

【その他の質疑】
職員の時間外手当等の増額補正・来年の道の駅混雑対策・道の駅での情報発信 など

2つの常任委員会

で説明と審議が行われます。

産業厚生常任委員会

ここがポイント 堀江病院の閉院

当別町の地域医療の中核を担ってきた堀江病院（樺戸町）が平成30年3月で閉院する意向が町に伝えられました。夜間休日の当番医の約70%を担うほか、町内唯一の入院病床を持つ中核病院閉院の影響について議論が行われました。

問 堀江病院は入院病床が58床あるとのことだが、転院について町への相談はあるのか。あるとしたら、相談件数は何件か。またどのような相談内容か。

答 直近では入院患者は30名以下で、**看護師長が中心となり転院や介護施設の紹介**をしている。地域包括支援センターで、**介護申請の手続きについての相談**があった。件数は整理中である。



問 町内の介護施設は堀江病院の入院患者を受け入れられるのか。今後、夜間救急を町内医療機関で対応するのは困難と思われる。江別市での対応も含めて検討するのか。町内で対応するのか。

答 町内の**特別養護老人ホームは満床**。サービス付き高齢者向け住宅はタイミングにより入居できる。閉院後、**夜間救急の対応を全て町内で行うのは厳しく**、江別医師会と検討中である。

ここがポイント 就労支援事業所の新設

平成29年4月に町内に新たな障害者就労支援事業所が開所し、12名の利用者が農作業やニワトリの世話などの就労をしています。



問 障害福祉サービス費で約4000万円の増額補正となるが、来年度以降も就労支援事業所などは増えていくと想定しているのか。

答 障害福祉は**施設から地域へ移行**する傾向にある。他に、親と同居していた方が作業所を利用して自立するケースもある。予算と、来年度改定する障害基本計画どちらも**この傾向を踏まえる**。

ここがポイント 19線の防雪柵



問 中央19線の防雪柵設置工事は当初予定の1/3程度。すでに5カ年計画の3年を経過しているが、計画を延長するのか。

答 当初予定通り5年で完成させたいが**国の交付金が減少**しており、町の財政状況も踏まえると**非常に厳しい状況**である。

【その他の質疑】

補正予算関係（立木の売払収入・輪作体系確立支援事業）11月の強風による農業被害・町道17線の除雪・損害賠償（町道の穴による自動車破損）・あそ公園遊具・地域未来促進法の当別町基本計画 など